

令和元年度
第3回北杜市環境審議会

会 議 録

北杜市生活環境部 環境課

第3回北杜市環境審議会 会議録

- 1 会議名 第3回北杜市環境審議会
- 2 開催日時 令和元年10月25日(金) 午前10時00分～11時20分
- 3 開催場所 北杜市役所 本庁 西会議室
- 4 出席者(敬略称)
出席委員
仲澤幸雄、三井茂、田崎尚弥、深澤みえ子、高橋勝彦、草野香壽恵、藤森勇
進藤香苗、井上安秋、赤羽素子、長坂正、早川昌三
欠席委員
浅川一恵、八巻美弥子、浅川正人、進藤眞夫、切刀美津子
事務局
環境課長 浅川和也
環境保全担当 篠原雅典、谷畑祐介、田中道代
新エネルギー推進担当 長坂和枝
会議録署名委員
三井茂、田崎尚弥
- 5 議事
(1) マイバッグ、食ロス削減宣言について
(2) 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)推進本部検討部会について
(3) その他
- 6 公開・非公開の別
公開
- 7 傍聴人の数
0名

会 議

1 開会（仲澤副会長）

2 会長あいさつ（草野会長）

3 議事

（議長） それでは議事に入ります。議題の（１）マイバッグ、食ロス削減宣言について、事務局から説明をお願いします。

（事務局） マイバッグ、食ロス削減宣言について説明。

（議長） ありがとうございます。この件につきまして、ご意見ご質問がありましたらどうぞ。

（議長） 説明した内容でご理解していただいたということによろしいでしょうか。なければ、（２）地球温暖化対策実行計画（事務事業編）推進本部検討部会について、事務局より説明をお願いします。

（事務局） 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）推進本部検討部会について説明。

（議長） ありがとうございます。この件について、ご意見ご質問がありましたらどうぞ。

（委員） 温室効果ガスの削減について、計画を実行するにあたっては費用対効果を考えなければいけないと思いますが、何か費用の面で考えていることはありますか。地球温暖化対策のためだからといって、いくらでも費用をかけられるということではないと思います。その点について検討しているのでしょうか。

また、（１）の２つの宣言についてですが、宣言するだけでなく、実行をしたり定着させたりすることが重要。市民が行動に移せるような具体的な施策を考えていただきたい。

（事務局） 費用をかけて設備を変更することはできるが、やはり財政面でできないのが現状です。今はできる事からと考えており、費用の面を考えながらこれから各

課で計画を立てて実行してもらおう予定です。

(委員) 40%の削減の目標を達成するには、費用をかければ簡単にできるがそういうわけにはいかない。ぜひ費用の面を考えながら計画を立てて実行をしてもらいたい。

(事務局) 2つの宣言についてですが、マイバッグ持参率や食品ロス削減率を具体的に数字で示していく予定です。食品ロスについては、可燃ごみの中の食品が占める割合を調査する組成調査について過去行ったことがないため、まずこの組成調査を11月頃に行い、具体的に数字を出した上で、毎年5%ずつ減らしていきたいと思っています。また、全体のごみの排出量も毎年増加しているので、全体のごみの量も削減をしていきたいと思っています。

(委員) 取組みやその後の調査を行った場合、効果があったのか等その都度市民へ周知をすることが大切だと思います。

また、マイバッグについて、北杜市のマイバッグ持参率が87%と説明をしていたが、スーパー等の食品小売店での持参率ということですか。

(事務局) そうです。山梨県との協定に伴う加盟店で毎月レジ袋辞退者数の統計をとっており、北杜市内の加盟店でのマイバッグ持参率になります。

(委員) レジ袋を普通に渡している店舗もまだあるが、そういった店舗への協力依頼もするべきだと思います。

(議長) マイバッグについて、山梨県では他の県より早くから取組みをしており、マイバッグ持参率87%は他の県に比べると高いと思います。また、食品ロスについては、北杜市消費生活研究会で食品ロスの量を調べパンフレットを作成したりしています。また、環境課では環境プログラムにおいて子ども達への環境教育も行ったりしています。こういった取組みを市民にもっとアピールしていくことが大切だと思います。

(委員) 資料6ページ、温室効果ガスの削減目標の③運用改善、⑤将来の電気の排出係数の低減による削減見込み、この2つについて具体的に説明して下さい。

(事務局) ③については、資料9ページの表の具体的な取組のところに書いてある内容

になります。また、⑤について、まず排出係数というのは、電気を供給するにあたり、1kWあたりCO₂をどれだけ排出するかを示した数値になり電力会社で出しているものです。その係数が低減することによりCO₂の削減が見込まれるということになるが、次回の審議会に詳しく説明をしたいと思います。

(委員) では次回お願いします。

(委員) 運用改善のところで、現在も電気をこまめに消す等色々と実行していると思いますが、2030年度に15.6%削減するために、具体的にはどのようなことをするのですか。

(事務局) 市の職員が、以前に比べ、電気をこまめに消す等省エネに対する意識が低くなっていると感じているため、職員の意識改革から始めたいと思っています。

(委員) 資料を見ると、市の関連する事業所での取組のみだが、温室効果ガス削減については一般家庭や企業も取組みをしなければならないと思います。そのことについてはどのように考えていますか。

(事務局) この計画は事務事業編となっており、市役所が一事業所として取り組む内容となっています。これとは別に地域区域編があり、これが市全体で取り組む計画となっています。区域編については、市全体でCO₂を削減していくために今後策定をしていきたいと考えております。

(委員) まず市の事業所が取組みを行い、次に一般家庭や企業にも協力を求めて推進していくという流れになると思うが、それについて特に記載がなかったため疑問に思いました。

(事務局) 市の取組み状況を年1回公表して、一般家庭や企業にも取組みをお願いしていきたいと思っております。

(議長) 市の取組みを市民に周知することは大切ですね。現在も市職員は昼食時消灯をして暗がりでごはんを食べたりしているが、そういった取組みを市民は知らない。市が頑張っている姿を見せれば市民も進んで取り組むと思います。

また、今回の説明にはありませんでしたが、地球温暖化への対策としては緩和策及び適応策があり、緩和策だけでなく今後は人間が気候に順応していくと

いう適応策も考えていかなければならない。この緩和策、適応策について知らない市民もいると思うので、これについても周知をしていかなければいけないと思います。

(委員) 市職員のマイカー規制をしたらどうか。私が以前勤めていた会社では公共交通機関があればマイカー通勤は認められなかった。職員が乗り合わせで通勤すれば、CO₂削減効果はかなり出ると思います。電気を消す、エアコン使用を短くするという事は取り組んでいるが、そういったところはまだ手をつけていないので、取り組んでみてはどうか。

(議長) 北杜市にはあまり公共交通機関がないので難しいのでは。

(委員) 市民バスの時刻を通勤に合わせる等すれば可能ではないか。そうすれば、道路の交通量は減り交通安全にもつながり、また市民へのアピールもでき、かなりの効果が出ると思います。

(事務局) 以前、北杜市でも市民バスの乗車率が低いこともあり、マイカー通勤しないよう取り組んだことはあるが、今回は、こういった案を職員の中で色々出し合い地球温暖化対策の取組みをしていきたいと思いますということで計画を立てました。

なぜ北杜市がこの計画を策定したかといいますと、(5)地球温暖化対策計画において、公共施設が約40%削減すれば、日本全体で約26%の削減ができるようになっており、まずは公共施設が先に40%削減をし、その後企業に割り当てをして削減していくために策定しました。今後、この計画を基に職員の中で色々案を出していき、どのように削減していくか考えながら進めていきたいと思っています。

また、マイバッグ宣言についても、北杜市では今までマイバッグを配布していました。ただ、市民の中でもそのことを知らない人が多いので、マイバッグ宣言をしたことによって今後はさらにアピールしていきたいと考えております。

(議長) 市役所から始まって市民に広まった例としてグリーンカーテンが挙げられます。市の取組みを見て市民にも普及していったと思われそうです。

また先日、環境学習において大学1年生と話した際、買い物をする時はマイバッグを持参すると言っていました。このことから、子ども達に環境問題につい

て地道に伝えていくことで効果が出るのではないかと思います。

(委員) 温暖化対策のためにエアコンの温度設定基準が市役所内にはあると思いますが、医療の面からすると、病気にかからない一定の適正温度というものがあ
り、高く設定したり低く設定したりすると病気にかかる人が多くなり、医療費
が増えるという問題が起きる。温暖化対策を考える際、環境面だけでなく他の
観点からも考えなければ、1つの面では良いが、違う面では悪くなるというよ
うになってしまうので、他の部署と連携して検討していくべきだと思います。

(事務局) そうですね。第1回の検討部会に各課の課長が集まりますので、そういった
ところで各部署連携していきたいと思っております。

(議長) 他に何かありますか。なければ、(3) その他、事務局で何かありますか。

(事務局) (配布した生ごみ水切りダイエットの説明) 生ごみには多くの水分が含まれ
ているため、この水切りダイエットを使うことによってかなりの水分を切るこ
とができます。調査したところ、多い時で38%の水分が出ました。環境課で
は食品ロス削減のスローガンとして、食べきり、使いきり、水切りを掲げ、環
境啓発運動にて、これを配布していきたいと思っております。

なお、この水切りダイエットを使うことによって、年間のごみの量がおよそ
0.5%削減でき、処理費用がかなり減ると思われれます。これを配布すること
によって水切りを普及させ、みんなでごみ減量化を進めていきたいと思いま
す。

(委員) これは今後各戸に配る予定ですか。

(事務局) 今のところイベントでの配布、啓発を考えており、そこでどれくらい減った
か等を検証しながら今後配布の計画をしていきたいと思っております。

(議長) どのようなイベントで配布する予定ですか。

(事務局) 環境に関するイベントや食品ロス削減のイベント等で配布したいと思ってお
ります。さしあたって11月30日の子ども環境フェスタで配布したいと思っ
ております。

(委員) イベントの時にぜひお願いしたいのが、どのように使って、どれくらい減量できるかをその場で説明をしていただきたい。ただ配布するだけではごみになるだけだと思います。

(事務局) そうですね。これ自体をクイズに使用しながら説明していきたいと思います。

(委員) 手で絞るよりも効果があるかどうか比べることも必要かと思います。私も家で試してみたいと思います。

(委員) コストはどれくらいですか。

(事務局) 1つ190円くらいになります。これを使うことによってごみの重さも減るため、ごみを捨てる時も楽になると思います。

(議長) 今日からぜひ皆さん使ってみて下さい。それでは議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

4 閉会（仲澤副会長）

会議終了 午前11時20分

以上、令和元年度第3回北杜市環境審議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名 _____ ⑩

署名 _____ ⑩